

ふれあい

2025 年 199 号 令和 7 年 7 月発行 発行人 / 武蔵均 編集人 / 藤城高満 船橋市海神 6-11-11 電話 433-8714

令和 7 年度 支部長の挨拶

2025 年、早いもので半年が過ぎました。先ず、昨年の 1 月に起きた能登半島地震において被害を受けた皆様へお見舞い申し上げます。いまだ、復興が遅れている様であります、1 日も早く復旧を果たし、平穏な日を迎えられる様お祈りします。振り返れば、未だ収束されないロシアとウクライナの戦争、イスラエル・イラン情勢、原油高、円安、そして異常気象からまねく農作物の影響により、ほぼ全ての物が高騰すると言う、大変厳しい年となっています。そんな中、全理連、千葉県組合、そして船橋支部

においても、少しでも組合の皆様のサロンの売上増へ繋がる事業、組合員の心の豊かさに繋げる為の企画を考え頑張っています。お一人一人が、足を運んで参加するという行動が、明日の組合への大きな力になると、私は信じています。皆様一緒に頑張っていきましょう。皆様のご協力とご指導を賜りますようお願い申し上げます。暑さが厳しくなる季節ですが、皆様におかれましては、どうぞ健康にご留意いただき、ご活躍されることを心より願っております。

ソフトボール東総大会 2024

船橋の初戦の相手は印西。試合は序盤から船橋ペースで進みました。2 回には中村君や伊藤君の本塁打で勢いに乗り、一気に 4 得点を奪取。さらに 4 回には増淵君、森君、大宮君の適時打が続き、この回だけで 10 得点を挙げる猛攻を見せました。最終的に 18 対 7 と大勝し、幸先の良いスタートを切りました。

続く中央との試合では、両チームが打ち合う展開となり、白熱した乱打戦に。互いに得点を重ねる中、最終回で船橋が粘りを見せ、11 対 10 のサヨナラ勝ちを収めました。勝負強さを発揮し、見事に 2 連勝を果たしました。

7 月 22 日の大会最終日、対戦相手は優勝候補の松戸。序盤から松戸の切れ目のない強力打線に苦しめられ、3 回終了時点で 9 対 7 とリードを許す



苦しい展開となりました。しかし、船橋も諦めることなく 4 回裏に反撃開始。岡村さんがヒットで出塁すると、中村君、森君の適時打で 2 点を返し、試合を 9 対 9 の同点に持ち込みました。そして、サヨナラのチャンスで迎えたのは 4 番・大宮君。しかし、芯で捉えた強烈なライナーは惜しくもショートグラブに収まり、時間切れとなり引き分けに終わりました。

最終的に船橋は 2 勝 1 分という好成績を収め、得失点差で平成 29 年以来、7 年ぶりの優勝を決めました。選手の皆さん、本当にお疲れ様でした。熱い試合を繰り広げたすべてのチームに拍手を送ります。



千葉県理容組合ゴルフコンペ

6 月 3 日、月曜日に千葉県理容組合ゴルフコンペが白鳳カントリーにて開催されました。前日が大雨だったため、当日の天候が心配されましたが、朝になってみるとまだ少し雨が残っており、蒸し暑いコンディションの中でのスタートとなりました。白鳳カントリーは、県内でも屈指のバンカーの多さを誇り、その数はなんと 124 個！距離はそれほど長くないものの、戦略的なショットが求められるトリッキーなコースという印象を受けました。そんな中、今年の船橋支部の選手たちは苦戦しながらも、最後まで諦めずに奮闘し、見事なプレーを見せてくれました。では結果発表です。

【個人戦】(新ペリア方式)
9 位 増淵和代さん
レディース賞 2 位 増淵和代さん
名誉会長賞 中村孝志さん
第 3 位 武蔵均さん
第 2 位 鈴木利夫さん
優勝 丸子達也さん
なんと 1 位、2 位、3 位を船橋支部が独占する「船橋フィニッシュ」となりました。

【団体戦】
団体 3 位入賞！おめでとうございます。
メンバーは以下の 5 名です。
角田勝利さん
望月保光さん
丸子達也さん
御簾納功一さん
武蔵均さん



個人戦・団体戦ともに素晴らしい結果となり、船橋支部の健闘が光る大会となりました。そして、見事優勝を果たした丸子達也さんの優勝挨拶です。「まさか優勝できるとは思いませんでした。勝因は、バンカーを避けて、避けて、避けた結果だと思います。」

とても参考になる(?) 挨拶に、会場は笑いに包まれました。昨年の優勝者・望月保光さんに続き、今年は丸子達也さんが優勝を果たし、これで船橋支部は 2 連覇達成です。来年は果たして誰が栄冠を手にするのか、今から楽しみです。最後に、今回大会を担当して下さった松戸支部の皆さん、本当にありがとうございました。



5 班 新年会

1 月 13 日(月)、北習志野にある老舗の「車寿司」にて、第 5 班による恒例の新年会が盛大に開催されました。今年は、班員 9 名が参加し、年初めのひとときを共に楽しみました。まずは有澤さんによる元気な乾杯の音頭で宴が始まり、店自慢の新鮮なお寿司をはじめとした美味しい料理の数々に舌鼓を打ちながら、それぞれの近況報告や昨年一年を振り返る会話が自然と弾みました。中でも、昨年惜しまれつつ逝去された添野さんの思い出話に花が咲き、その人柄や数々のエピソードに改めて感謝と敬意を込めた時間となりました。笑いあり、しみりとする場

面もあり、参加者一同の心が温かくひとつにまとまる、そんな充実したひとときでした。お腹も心も満たされ、話が尽きない中で、気がつけばあっという間に時間が過ぎてしまい、「もう少し話していたい」という声も聞かれるほど、名残惜しい時間となりました。最後は、大宮さんの威勢の良い三本締めで、参加者全員健康と本年の益々の繁栄を願いつつ、晴れやかな気持ちでお開きとなりました。

第 5 班の皆様、本年もどうぞよろしく願いいたします。次回の集まりも今から楽しみにしております。

班長 加瀬



関東甲信越フットサル大会

11月18日(月)、関東甲信越フットサル大会がフロンタウン鷺沼において午前10時より開催されました。今年も船橋支部、習志野支部、木更津支部のメンバーに加え、一般参加からの有志を集めた合同チームで挑みました。選手たちは日頃の練習の成果を発揮するため、気合十分で会場に集まりました。

当日は早朝からの移動となりましたが、選手たちは疲れを感じさせることなく、ハツラツとした表情でウォーミングアップに励み、キックオフの瞬間を心待ちにしている様子でした。大会が始まると、各チームが熱い戦いを繰り広げる中、合同チームも負けじと奮闘。特に、優勝候補とも言われる神奈川代表との試合では、白熱した攻防の末に引き分け、大金星に匹敵する活躍を見せました。

さらに、埼玉代表との試合では粘り強いプレーが実を結び、見事勝利を収めることができました。最終成績は1勝1分け6敗と

決して華々しい結果ではありませんでしたが、昨年と比べると大きな進歩が感じられる大会となりました。

何よりも印象的だったのは、選手たちが真剣にプレーしながらも、心から楽しんでいる姿でした。大会を通じて技術の向上だけでなく、チームの絆も一層深まったように思います。怪我もなく無事に大会を終えることができ、参加した皆さん、本当にお疲れ様でした。

来年もさらに成長した姿を見せられるよう、また一緒に頑張りましょう！



第39回理容フェスティバル 第36回理容師文化展

11月19日(火)、匝瑳市民ふれあいセンターにおいて、第39回千葉県理容フェスティバルと第36回理容師文化展が開催されました。八日市場支部の実行のもと、盛大に催され、多くの参加者で賑わいました。

当日は天候に恵まれ、前日のぐずついた天気うそのような秋晴れとなりました。残念ながら船橋支部からのカラオケ出場者はおらず、個人的には少し物足りなさを感じましたが、それでもカラオケ大会は例年通りの盛り上がりを見せていました。今年は初の試みとして一般の方もカラオケ大会に出場し、新たな試みが加わったことで、今後の大会のさらなる発展が期待されます。

文化展では、阿部守一さんが特別出品として、手芸の部に一点、写真の部に三点の作品を出展しました。手芸の部では「信楽赤目土(しがらきあかめつち)」を使った作品が展示され、その見事な焼き上がりと存在

感が多くの来場者の注目を集めました。写真の部では、「屏風の耳から見た奥穂高岳」「北穂高から見た槍ヶ岳」「涸沢岳から前穂高岳と北尾根」の三点を出展し、どれも迫力に満ち、雄大な自然を感じさせる作品でした。

また、会場の入り口には八日市場支部の計らいでキッチンカーが4台出店し、来場者の食欲をそそる美味しそうな料理が並びました。さらに、マッサージサービスも提供され、多くの方が気持ちよさそうにリラックスしている姿が印象的でした。

今回の理容フェスティバルは、例年以上に新しい試みが入り入れられたイベントとなり、多くの人々に楽しんでもらえたようです。こうした工夫を重ねながら、今後もより一層盛り上がることを期待しつつ、無事に幕を閉じました。



武藏均氏 黄綬褒章記念祝賀会

令和6年11月4日(月)午後2時、千葉県幕張のホテルニューオータニ幕張にて、武藏均氏の黄綬褒章受章を記念する盛大な祝賀会が開催されました。長年にわたり理容業界の発展に尽力された武藏氏の栄誉を称えるこの会には、全国から多くの来賓や関係者が集い、会場は喜びと感謝の雰囲気に包まれました。

祝賀会の幕開けは、元NHKアナウンサー宮川泰夫氏の流麗な司会進行によって行われました。厳かながら温かい空気の中、主役の武藏氏が登場するとその功績を称える大きな拍手が巻き起こり、長年の努力への敬意と祝意が伝わってきます。

式の冒頭では御簾納功一氏による開会の挨拶があり、続いて祝賀会の発起人たちが紹介されました。発起人代表の増田稔千葉県理容生活衛生同業組合理事長をはじめ、師である本田誠一全理連中央講師会名誉講師、御簾納功一船橋支部副支部長、花岡康優千葉県講師会会長、木下裕章全理連講師会幹事長、遠藤正弘早苗会本部会長、花島和久全理連中央講師千葉県会幹事、永島富士男千葉早苗会副会長らが壇上に並び、敬意と感謝の意を示しました。増田理事長からは、武藏氏の人柄と功績を称える心温まる挨拶が述べられ、期待感が一層高まりました。

来賓祝辞では、熊谷俊人千葉県知事からの祝意あふれるメッセージが披露され、続いて松戸徹船橋市長、臼井正一参議院議員、船津博司全理連教育委員長、遠藤正弘早苗会本部会長が登壇。それぞれが武藏氏の功績と人柄を称え、心からの祝辞を述べられました。温かい言葉に、会場は静かな感動に包まれました。

続いて武藏氏が登壇し、黄綬褒章受章への喜びと、それに至るまで支えてくださった方々への感謝が語られました。「この度の受賞は身に余る光栄で、祝賀会を開いていただき、多くの方に集まっていたことに感謝します」と述べられ、参列者へ深い感謝の意を伝えました。

また、5月14日に厚労大臣より勲章を授与されたこと、皇居で天皇陛下のお言葉を賜った際の感動を「生涯忘れ得ぬ財産」と語り、「これも全理連の大森理事長をはじめ、増田理事長、早苗会の皆様のおかげです」と感謝を改めて表しました。

武藏氏は理容師としての半世紀を振り返り、成長を支えてくれた恩師や仲間

たちへの感謝も述べました。「『人が喜び、お客様が喜ぶ』ことを第一に歩んできた理容の道に、心から感謝しています」と語り、柴田先生や今井先生、そして人生の師である本田誠一先生の名を挙げ、「皆様の支えがなければ、私はここに立てませんでした」と敬意を表しました。

父の事故で夢を諦めかけた時期のことにも触れ、「絶望の中で出会った千葉早苗会の仲間、故・星野先生に励まされ、『中央講師になりなさい』との言葉が転機となりました」と振り返りました。さらに、妻・厚子さんへの感謝を「妻の支えがなければ今の私はいません」と述べ、理容の道を共に歩む息子たちにも触れ「親子ともども、この栄誉に恥じぬよう努力を続けます」と決意を語りました。参列者への感謝と今後の支援をお願いし、挨拶を締めくくられました。

続いての祝宴は、師匠・本田氏の力強い乾杯で幕を開け、料理と歓談の中、船橋市の有志によるジャズと太鼓の演奏で会場は盛り上がりしました。

その後、花束贈呈や記念撮影が行われ、スクリーンには武藏氏の業績や家族、仲間たちとの歩みを振り返る感動的な映像が映し出されました。感動に包まれた会場で武藏均氏の功績を称えるとともに、今後のさらなる飛躍を願って黄綬褒章祝賀会は温かい拍手と笑顔のうちに幕を閉じました。

